

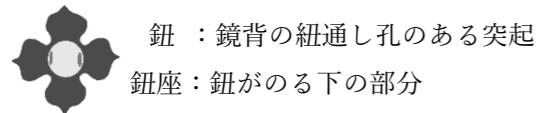
大きな鏡 (千石コレクション最大の鏡)

しょうぎそもんきょう 四葉座素紋鏡 (図録 139)

直径 46.2 cm 重さ 13,469g

紀元前 1 世紀 (前漢時代)

鏡背面 (模様がある面) の中心に半球状の鈕と四葉紋の鈕座があり、凸帯で区画した外側の 4 か所にも円形の鈕座をもつ半球状の鈕があります。それ以外は紋様がなく色が塗られた痕跡もありません。



この写真は約 1/6

古代中国には顔や髪を整える鏡のほかに、人の全身を照らすドレッサーのような大きな鏡がありました。

前漢の齊王墓 (山東省臨淄) で発見された長方形の大銅鏡は、高さ 115cm×幅 58cm、厚さ 1cm、重さ 57 kg、背面の 5 か所に四葉紋の鈕座と鈕がありました (紀元前 2 世紀/前漢時代)。また、秦 (紀元前 221 年~紀元前 206 年) の咸陽宮には高さ 5 尺 9 寸 (約 133 cm)、幅 4 尺 (約 90 cm) の方形の鏡があり、始皇帝はこの鏡を用いて宮廷の女官を映し出し、邪心があるか否かをみきわめたと伝えられます。『西京雜記』巻 3)。

本鏡も 5 つの鈕があることから、宮殿の壁に立て掛けられた鏡と推測されます。

※西京雜記：西京 (せいけい/前漢の都 長安のこと) の故事を集めたもの。

小さな鏡

れんじゅもんきょう 連珠紋鏡 (図録 100)

直径 4.2 cm 重さ 20g

紀元前 1 世紀 (前漢時代)

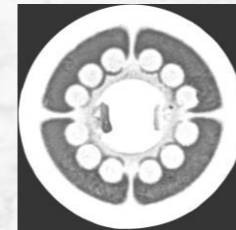
大きな鏡と同時代の小さな鏡です。12 個の連珠が中心の半球状の鈕を囲むように表現されています。

同時代の異体字銘帯鏡の鈕座だけを切り出したような鏡で、使われている紋様は、櫛目紋を除くと似た構成をしています。

化粧用にはすぐわない小さな鏡は、魔除けや招福の護符 (おまもりふだ) として用いられていた可能性が高いものです。



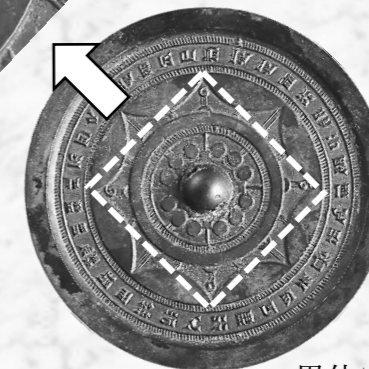
この写真は約 1.5 倍



X線写真 (連珠紋鏡)



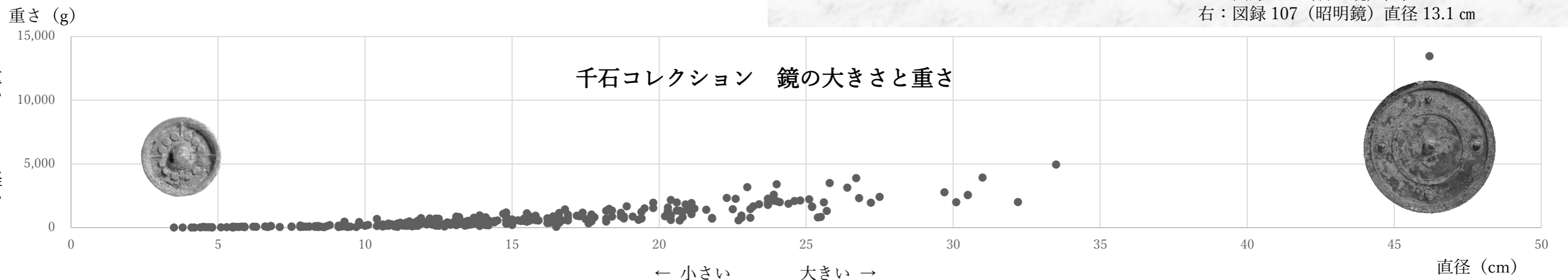
X線写真 (図録 111)



異体字銘帯鏡

左：図録 111 (君忘鏡) 直径 16.7 cm

右：図録 107 (昭明鏡) 直径 13.1 cm



大きな鏡 小さな鏡

令和元年 7月18日(木)～9月10日(火)

次回の企画展

「龍 翔ける！」 令和元年9月13日(金)～令和2年3月10日(火)

夏休みのイベント

- ◎ 古代体験講座「金属で鏡をつくろう」 予約が必要です
日 時／7月27日(土) 10:00～12:00 (7月1日から☎予約受付)
8月24日(土) 10:00～12:00 (8月1日から☎予約受付)
会 場／県立フラワーセンター ログハウス
定 員／各回 先着10名
参加費／1,000円
対 象／小学生以上(小学生は保護者同伴のこと)

- ◎ 8月の毎日曜日のイベント
「クイズに正解して、古代鏡缶バッジをつくろうよ！」
日 時／8月の毎日曜日(4日、11日、18日、25日) 13:30～15:30
会 場／古代鏡展示館 展示室
参加費／無料(大人は観覧料100円が必要です)

※各イベントに参加するには、別途県立フラワーセンターの入園料
(大人500円、高校生以下無料)が必要です。

主催／兵庫県立考古博物館加西分館 後援／兵庫県 兵庫県教育委員会



この写真はどちらもほぼ実物大です



兵庫県立考古博物館 加西分館
古代鏡展示館
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors